

週報

国際ロータリー・テーマ

夢をかたちに



Vol.42 第2068回例会

2009.3.19

今年度会長テーマ

(あい)に感謝 そして 実践しよう
ロータリーの志魂(こころ)

■司会：
当間例会運営委員長



■地区大会のお礼の挨拶：武蔵村山RC
比留間重次様
宮崎茂夫様



■点鐘：町田会長

■合唱：ロータリーソング
「日も風も星も」



◆ソングリーダー：
村田会員

会長報告

町田会長



■お客様紹介：木下パスト会長

◆ゲスト：武蔵村山RC 比留間重次様
宮崎茂夫様



故阿部パストガバナーの遺言

第一条☑勉強すること
綱領・道徳律・決議34号を基本として、小堀憲助著「ロータリー・クラブ」など情報委員会が推奨する文献をテキストにして、ロータリーの思想を原理的に把握すること。ロータリーには一見権威ありげな外観をもって誤った情報が氾濫している。その真偽を判別する能力は、実証的研究に基づく正しい知識を持つほかない。

◆ゲスト：お天気キャスター 橋詰尚子様



第二条☑世俗の倫理を離れること
職業私事観、企業＝利潤追求、地位等による差別意識、日本的タテ社会思想(会長は偉い、幹事は秘書、大企業と中小企業etc)、障らぬ神にたたりなし式無関心など。それはロータリーを墮落・崩壊させる効果的方法である。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／高橋 眞 田中 重義

■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

第三条☒「参加し、敢行せよ」

例会(Make upを含めて)は勿論、委員会、club forum、地区大会などにはつとめて出席し、意見を率直に述べ、担当した役目を誠実に遂行すること。クラブの運営・活動について改善すべき点は、遠慮せず理事会で討議するよう提案すること。クラブには積極的に協力しないで、陰口をたたきあるいは知らぬ顔の半兵衛を決め込むのは、ロータリアンの取るべき態度ではない。

第四条☒異業種間の相互啓発に努めること

我々は、お互いに多かれ少なかれ「専門バカ」に陥る危険を常に持っている。例会はそれを防ぎ、治してくれる場である。限られた貴重な時間を、お天気とゴルフと病気の話だけに空費するのをやめ、どん欲に自分の知らない他分野の専門家の見識をタダで吸収して帰ろう。その見返りに、自分の職業的知識を無償で仲間に提供してあげよう。

第五条☒ロータリーを経営に活かすこと

ロータリーは、単に心の状態に留まってはならず、実践に移さなければならない(決議34号第4項)。綱領・公式標語・道徳律・4つのテストなどを自己の事業の基本精神にすえた経営理念を確立し、実行しよう。企業は社会的使命を担っており、消費者・地域社会・株主・従業員・下請企業・同業者に対し責任を負っていることを自覚しよう。

第六条☒ロータリアンらしく生きること

職場で、家庭で、地域社会で、所属団体で、外国で、ロータリーの輝かしい伝統と名誉を傷付けない振舞いをしよう。

第七条☒あなたがロータリーの運命を握っている「俺一人ぐらい」と考えてはいけない。ロータリーを良くも悪くも変えていく鍵を握っている重要な主役は、誰であろうあなた自身なのだ。そのことを忘れるな。

■ 幹事報告

相羽幹事



■ 研修委員会：

第4回地区研修委員会開催の案内の受理
2009年4月2日(木) 15:00~17:00
於 帝国ホテル 5F 513号室

■ 国際ロータリー日本事務局：

4月のロータリーレート 1ドル=98円

■ 青少年交換委員会：

・派遣予定学生オリエンテーションのお知らせ
4月11日(土) 15:00~17:00
於 ファーマライズ(株)

・派遣予定学生ブレザー寄贈のお願いについて
派遣学生にロータリーエンブレム付ブレザーを寄贈の同意
予算¥22,000円

■ 国際奉仕室：

国際奉仕室会議開催の案内の受理
2009年3月24日(火) 15:00~17:00
於 ガバナー事務所

■ ガバナー事務所：

2008~2009年度 R I 第2580地区地区協議会
開催のお知らせ
2009年4月14日(火) 13:00登録開始
於 椿山荘
→出席者については次年度幹事、高橋幹事に
確認いたします。

■ 東村山交通少年団：

東村山交通少年団入退団式の案内の受理
2009年3月27日(金) 10:30
於 市民センター北庁舎1F

■ 桜華女学院：

平成21年度高等学校第52期生の入学式の案内
平成21年4月9日(木) 10:30~
於 第一体育館

■ 例会変更：

・東京板橋セントラル R C
4月10日(金)→4月6日(月)

・東京あすか R C
4月28日(火)→4月29日(水)

■ 東京清瀬 R C：

第91回 F R C ゴルフコンペの案内の受理
2009年5月14日(木)
於 青梅ゴルフ倶楽部 中コース
集合 8:00 スタート 8:42 会費 7,000円
メ切 4月10日まで

■ 回覧：「友」インターネット速報 No.372、373

ハイライトよねやま
心の東京革命
東京あすか R C 20周年記念誌

■出席報告

吉川例会運営委員

在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
41	34	2	5	86.49

■前々回メイクアップ：
修正後前々会欠席：1名

■前々回出席率メイク：
アップ修正後：97.30%

■前々会メイクアップ者：
目時会員：地区活動
二ノ宮会員：所沢RC
野村会員：バギオ活動
杵山会員：所沢RC
當間会員：地区大会
戸澤会員：地区活動
漆原会員：清瀬RC



- ◆東京電力(株)立川支社長：
旅行に際しましてお祝いを頂きました。
- ◆目時会員、戸澤会員：
旅行に際しましてお祝いを頂きました。
- ◆武蔵村山RC：
先般行われました地区大会のお礼を頂きました。
- ◆中丸会員：旅行に参加できず申し訳ありませんでした。
- ◆漆原会員：旅行幹事様、お世話様です。
- ◆隅屋会員：旅行幹事様、お世話様です。
- ◆高橋会員、當麻会員、田中会員：
先週の見学会及び例会には、たくさんのご出席を頂きありがとうございました。
- ◆樺澤会員：比留間様、宮崎様ようこそおいで下さいました。

本日のニコニコ合計： 87,000円
累 計： 1,234,864円

■ニコニコBOX

肥沼クラブ管理委員

◆皆出席：
五十嵐会員(30回目)



◆ご結婚祝月：
杵山会員



◆令夫人誕生祝月：
戸澤会員



■臨時全員協議会

町田会長

臨時理事・役員会の報告
事項について



■卓話

■卓話者紹介：
中丸プログラム委員長



■お天気キャスター
橋詰尚子様



お天気キャスターの仕事とは？

1. 橋詰尚子 職歴

最初に就いた仕事は長野県小諸市のCATVキャスターでした。少人数の会社のため、キャスター、レポーターの他、カメラ、編集、原稿まですべて自分で担当していました。この頃、独自にローカル気象情報を発信できる資格があることを知り、気象予報士という資格に興味を持ちました。その後TBSラジオキャスター時代に気象予報士の資格を取り、気象キャスターの仕事をするようになりました。2000年からTBSテレビの気象キャスターとなり、2004年から、NHK「おはよう日本」の気象キャスターとなりました。

気象予報士は「気象予報が出来る資格」であって、実は気象キャスターのように「気象を解説する」だけなら資格は必要ありません。ただ、いざという時に対応できる知識をもった人を、ということで、テレビやラジオの気象キャスターはほとんど気象予報士です。でも、気象キャスターをしている人はごく一部です。気象予報士は15年前にスタートした資格で、現在は7000名近い予報士がいますが、その中で気象関係の仕事についているのは1000名以下といわれています。

2. 「おはよう日本」気象キャスターの一日①(スタジオでの気象情報)

「おはよう日本」を担当していた頃、私は毎朝午前1:30に起きていました。そして3:00にNHK出版社、それでも放送開始まで2時間弱で、局内を走って移動するくらいのタイトスケジュールでした。放送開始までに行っていた準備は、専門天気図など予報資料の検討、ディレクターやニュースキャスターとの打ち合わせ、画像の発注、メイクなどです。

私は5時台のスタジオでの気象情報を担当していました。スタジオでの気象情報で苦労した点は大きく言って3つあります。

まずは、「きょうのポイント」として、全国の天気を一言(9文字)でまとめなくてはいけなかったことです。北海道は大雪、関東は晴れて寒い、西日本は暖かい、などと全国で天気がバラバラのときも珍しくなく、何をポイントにするか苦労しました。

次に、限られた時間の中で何を伝えるかです。私がレギュラーで担当していた時間は6分間と長めでしたが、それでも全国を網羅するには短い時間でした。

もう1つは、ネタの選定です。

私の気象情報の中には、「ここに注目」というコーナーがありました。これは私が企画して始めたもので、毎日の天気や季節の情報から何か1つピックアップして1分程度でお伝えするというミニコーナーでした。

ネタは、短く、わかりやすく、かつ楽しく作らなければならず、どのようにお伝えするか苦労しました。

3. 「おはよう日本」気象キャスターの一日②(中継での気象情報)

おはよう日本を担当して3年目の年から、中継での気象情報が始まりました。5時台のスタジオ天気を終えた後、すぐに支度をしてNHKの入り口辺りで中継をしていました。中継での気象情報は民放では行われていましたが、NHKで最初に始めたのが私です。初めての試みということで、すべてが手探り状態でした。

中継天気最大の目的は体感を伝えること、でも限られた時間の中で、全国の人に向けて、「私の感じた東京の体感」をどのように伝えるべきなのか、色々と悩み、工夫しました。

苦労したことは他にもあります。夏は日焼けと蚊などの虫対策、冬はとにかく厳しい寒さに苦労しました。夏は日焼け止めと虫除けスプレーが欠かせず、冬はLLサイズのダウンコートと冬山登山用の靴を身につけて放送までの時間を過ごしていました。

4. 健康気象アドバイザーとしてのお仕事

昨年3月に「おはよう日本」を離れた後、「健康気象アドバイザー」という資格を取りました。これは「バイオクリマ研究会」という団体による認定資格ですが、「生気象学」の知識を持って、気象と健康に関するアドバイスができる、という資格です。

生気象学というのは気象と人間の暮らしとの関わりを研究する学問です。とはいってもそんなに難しい話ではなく、「低気圧が来ると古傷が痛む」とか、「春になると花粉症になってしまう」というのはすべて生気象です。

生気象の勉強を始めると同時に、昨年4月から、JR中央線・京浜東北線内のTV番組「とレインチャンネル」にて、「トレインクリニック」という番組を担当させていただいています。これは、生気象学に基づく、季節ごとの健康情報番組です。その他、全国で気象と健康に関する講演会もさせていただいています。

5. 気象キャスターのやりがい

気象キャスターという仕事のやりがいは、何と言っても「自分の言葉で伝えられる」ということだと思います。気象予報士のキャスターは、基本的に原稿を自分で作成するか、原稿を用意せずに自分の言葉で気象情報を伝えています。専門家として信頼されているために、単なる伝え手ではなく、気象コーナーのディレクター的役割も担当することができるのです。

その分内容に責任を持って伝えなければならないというプレッシャーもありますが、だからこそやりがいのある仕事なのだと感じています。

■点鐘：町田会長